

『時事直言』 No.702 2012年1月26日

時事直言ホームページ：<http://chokugen.com>

時事直言 携帯サイト：<http://mobile.chokugen.com>

FAX：03-3955-6466



時事評論家 増田俊男

赤字国転落?、、心配無用!

2011年の貿易収支が31年ぶりに約2.5兆円の赤字になったと報道されたことから今後我が国は貿易赤字国に転落するなどというコメントが多くなっている。

一昨年から述べてきたように日本経済は先進国に先駆けてすでに20年も前から低成長期に入っているため日本は今後の低成長時代の最先進国である。

低成長期時代では日本の輸出は当然量から質に代わるから輸出量が下がるのは望ましい傾向である。今後の輸出は付加価値の高い製品に限られ、新興国や途上国市場での量的需要には現地生産で対応することになる。

すでに日本の海外直接投資は急増し直近でも5兆円を超えており今後増加し続けることは間違いない。従って2011年の海外からの所得(利子や配当金)12兆円強は今年倍増する可能性さえある。

今、物議を醸している2.5兆円の貿易赤字は東日本大震災と福島第一原発事故によるサプライ・チェーン問題で自動車を筆頭に輸出産業の生産量が落ちたことと、急場しのぎの火力発電へのシフトによる天然ガスと原油の輸入急増によるものである。サプライ・チェーン問題は解決したので問題の半分は解決した。

天然ガスと原油価格は中国等新興国需要とイランのホルムズ海峡封鎖危機などから上昇している。

日本はエネルギー効率が先進国で最も高く、円高はさらに輸入コストを下げるから日本のエネルギー負担率は先進国中最も低い。

2012年の貿易収支は昨年の赤字要因が解消すると同時に海外所得が大幅に伸びることから経常収支の黒字は大幅に伸びるだろう。

日本経済は政府の施策に関わりなく新しい時代に向けて順調に構造を変えながら先進国中で最先端を進んでいる。「赤字定着」などの可能性は皆無。

日本経済に安心と期待はあっても不安はない。

お礼

「時事直言」の愛読者の多数の皆様からご協力金をお送りいただき感謝しております。いよいよご協力下さった皆様に特別号「アメリカの野望」(特別レポート)を、今までの「小冊子」とは趣を変えて単行本調で2月初旬から発送します。

「アメリカの意志」を知れば世界が分かるというものです。

協力金はまだ受付けていますのでご希望の読者はご連絡下さい。

感謝! 増田俊男の「時事直言」ご協力金ありがとうございます。

ご協力いただきました皆様には感謝を込めて単行本調の「アメリカの野望」(特別レポート)をプレゼントさせていただきます。1月31日までにお振込みの確認が出来た方には2月初旬から発送させていただきます。お申込み・お問合せは、(株)増田俊男事務所 TEL:03-3955-6686まで

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、事前に株式会社増田俊男事務所 (TEL03-3955-6686) までお知らせ下さい。